2026年4月16日

各　位

会 社 名　株式会社トリドールホールディングス
（コード番号　3397　東証プライム市場）
代 表 者 名　代表取締役社長　粟田　貴也
問 合 せ 先　取締役 兼 CFO
兼 ファイナンス本部長　山口　聡
電 話 番 号　03-4221-8900

# 英国子会社における事業再構築（再建手続きの申し立て）に関するお知らせ

当社は、当社連結子会社であるThe Fulham Shore Limited（以下「Fulham社」という）において、企業価値向上の観点から、事業継続と収益性改善を目的とした事業再構築を検討してまいりました。

本日開催の取締役会において、Fulham社グループの一部事業について、英国の制度を活用した再建プロセスを進めることを決議いたしました。対象は、ピザ業態「Franco Manca」を運営するFulham社の子会社であるFranco Manca 2 UK Limited（以下「FM社」という）であり、当該決議の内容につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

１．申立ての理由

当社は、2022年５月に策定した中期経営計画において、既存事業の成長に加え、特に海外事業における M&A を通じた事業ポートフォリオの拡張による高い成長の実現を目指す方針を掲げております。この方針のもと、2023年７月に、英国でピザ業態「Franco Manca」及びギリシャ料理業態「The Real Greek」を展開する Fulham 社を子会社化し、当社グループの事業ポートフォリオの量的・質的拡充、ならびに欧州における成長基盤の構築を進めてまいりました。

一方、近年の英国においてはエネルギー・食料等の価格上昇を背景としたインフレが高水準で推移し、最低賃金の上昇による人件費の増加もあり、外食産業を取り巻く経済環境は想定以上に厳しい状況が継続しております。当社としても収益改善等のための各種施策に取り組んでまいりましたが、外部環境の急激な変化への対応に一定の時間を要しており、収益性の回復が当初の想定より遅れております。その結果、足元では事業構造の見直しが喫緊の課題となっておりました。

このような状況を踏まえ、Fulham社においては、中長期的な観点から、事業の継続と収益性改善を目的とした事業再構築の検討を進めてまいりました。その結果、Fulham 社グループの子会社であり「Franco Manca」事業を営むFM社について、英国の Company Voluntary Arrangement（以下「CVA」という）（注１）を活用した不動産賃貸借契約等の再編を実施することといたしました。

本件においては、主として不採算店舗に係る不動産賃貸借契約条件の見直しおよび店舗ポートフォリオの最適化を通じて、固定費の圧縮を図り、事業の収益性および持続可能性を高めることを目的としております。

なお、「The Real Greek」事業については、別途様々な選択肢を視野に入れて事業再建を検討しており、今後対応が確定次第、必要に応じて速やかにお知らせいたします。

当社としては、本件の取り組みにより Fulham 社を持続可能な体制へと移行させ、再び成長軌道に戻

すことが、企業価値の向上につながっていくものと判断しております。

（注１）CVA とは、英国の倒産法制に基づく再建手続の一つであり、事業を継続したまま、債権者との合意のもとで契約条件等の見直しを行い、企業の再建を図る制度です。本制度は、提案された再建計画について債権者集会における議決を経て、有効に議決権を行使した債権者の債権額ベースで 75%以上の賛成が必要とされます。さらに、会社と利害関係を有しない債権者の過半数が反対していないことが要件となり、これらを満たした場合に当該再建計画は成立し、反対した債権者を含むすべての対象債権者に対して効力を有することとなります。

２．FM 社の概要

| | | |
|---|---|---|
| （1） 名称 | Franco Manca 2 UK Limited | |
| （2） 所在地 | 1st Floor, 50-51 Berwick Street, London, England, United Kingdom, W1F 8SJ | |
| （3） 設立年月日 | 2009 年 10 月 15 日 | |
| （4） 代表者の役職・氏名 | CEO Marcel Khan | |
| （5） 事業内容 | 英国国内の外食事業（「Franco Manca」の運営 ） | |
| （6） 資本金 | 100 ポンド | |
| （7） 大株主と持株比率 | Franco Manca Holdings Limited 100% | |
| （8） 当社との関係 | 資本関係 | 当社は Fulham 社の株式を保有しております。（持株比率：99.7%） |
| | 人的関係 | 記載すべき人的関係はありません。 |
| | 取引関係 | 記載すべき取引関係はありません。 |
| （9） 負債総額 | 28,294 千ポンド（2025 年３月末時点） | |

（10） 最近３年間の財政状態及び経営成績（単位：千ポンド）

| | 2023 年３月期 | 2024 年３月期 | 2025 年３月期※1 |
|---|---|---|---|
| 純資産 | 8,889 | 5,712 | 365 |
| 総資産 | 37,937 | 33,249 | 28,659 |
| １株当たり純資産 | 8.9 | 5.7 | 0.4 |
| 売上高 | 64,504 | 70,105 | 68,845 |
| 事業損益※2 | 3,646 | 2,055 | 83 |
| 営業損益 | △84 | △2,918 | △5,618 |
| 当期損益 | △691 | △3,177 | △5,347 |
| １株当たり当期損益 | △0.7 | △3.2 | △5.3 |
| １株当たり配当金※3 | － | － | － |

※１：2025 年３月期業績は監査中です。
※２：事業損益＝売上収益−売上原価−販管費
※３：FM 社は配当を行っておりません。
※４：参考として、2026 年３月末時点の対円為替レート（TTM）は、１ポンド＝211.03 円です。

３．今後の見通し

FM 社に係る CVA の具体的な条件（対象店舗、賃貸借契約条件、債権者との合意内容等）については、今後の手続き進行に伴い確定する予定です。今後のスケジュールとしましては、本決議をもって債権者向けに意思決定手続きが通知され、５月上旬に債権者集会が開催される予定です。

なお、「The Real Greek」事業については引き続き検討中であり、今後対応が確定次第、必要に応じてお知らせいたします。

本件が当社の連結業績に与える影響につきましては、当該子会社に係る事業再構築の進捗状況や資産等の処分条件、ならびに関係会社株式の評価結果等を含め、現時点ではその影響額を合理的に算定するこ

とが困難であり、現在精査中であります。今後、当社の2026年３月期業績へ与える影響を含め、開示すべき重要な事項が発生した場合には、速やかにお知らせいたします。

以　上